

伊勢原市 橋りょう長寿命化修繕計画 (橋りょう個別施設計画)



池端陸橋（イハタリッキョウ）

令和 7 年 3 月



目 次

1.	長寿命化修繕計画の背景と目的.....	1
1. 1.	背景.....	1
1. 2.	目的.....	2
2.	長寿命化修繕計画の対象施設.....	3
3.	健全性の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針.....	4
3. 1.	健全性の把握.....	4
3. 2.	日常的な維持管理に関する基本的な方針.....	4
4.	計画全体の方針.....	5
4. 1.	老朽化対策における基本方針.....	5
4. 2.	新技術等の活用方針.....	8
4. 3.	費用の縮減に関する具体的な方針.....	8
5.	計画全体の目標.....	9
5. 1.	集約・撤去や新技術等の活用に関する短期的な数値目標及びそのコスト縮減効果.....	9
6.	計画対象期間における事業計画.....	9
7.	長寿命化修繕計画による効果.....	11
8.	意見聴取した学識経験者、計画策定部署.....	12
8. 1.	意見聴取した学識経験者.....	12
8. 2.	計画策定部署.....	12

【別紙 1】個別の構造物ごとの事項

- ・ 構造物の諸元
- ・ 直近における点検結果及び次回点検年度
- ・ 対策内容
- ・ 対策の着手・完了予定年度
- ・ 対策に係る全体概算事業費

1. 長寿命化修繕計画の背景と目的

1.1. 背景

平成19年4月に、国が地方公共団体に通知した「長寿命化修繕計画策定事業費補助制度要綱¹」により、従来の事後的な修繕及び架替えから、予防的な修繕へ政策転換を図ることが求められるようになりました。このため、定期点検が完了した重要な104橋について、平成25年3月に橋りょう長寿命化修繕計画を策定しました。

その後、国が平成25年11月に策定した「インフラ長寿命化基本計画²」に基づき、道路管理者は、インフラの維持管理・更新等を着実に推進するための中期的な取組の方向性を明らかにする「インフラ長寿命化計画」を策定することが求められました。これを受け、本市では「伊勢原市公共施設等総合管理計画」を策定しています。さらに、その計画に基づき、個別施設毎の具体の対応方針を定める「長寿命化修繕計画（個別施設計画）」を策定することが求められました。本計画は、個別施設計画の内、「橋りょう長寿命化修繕計画」に位置付けられます。

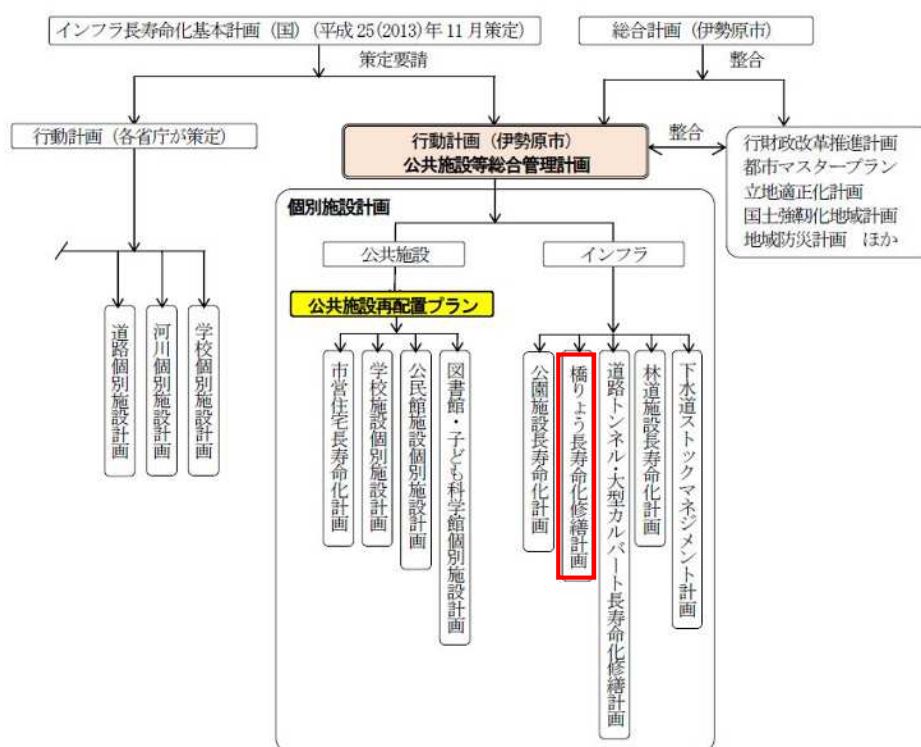


図1-1 計画の体系図³

¹ 長寿命化修繕計画策定事業費補助制度要綱は、メンテナンス事業補助制度要綱（令和2年3月31日）の通知により廃止されています。

² インフラ長寿命化基本計画は、平成25年6月に閣議決定した「日本再興戦略」に基づき、インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議において、同年11月にとりまとめられた基本計画です。

³ 伊勢原市公共施設等総合管理計画（令和5年3月改定）p.2

また、平成26年7月には、道路法施行規則の一部改正が施行され、5年に1回の頻度で近接目視により定期点検を行うことが基本となりました⁴。これを踏まえ、平成31年度までに定期点検を実施し、令和2年3月に橋りょう長寿命化修繕計画を改定しました。令和5年には「新技術等の活用方針及び集約・撤去や新技術等の活用に関する短期的な数値目標及びコスト縮減効果」を追記しました。本計画は、令和5年度までに定期点検を実施した220橋について、橋りょう長寿命化修繕計画を改定するものになります。

表1-1 橋りょう長寿命化修繕計画の策定経緯

年版	備考
平成25年3月	策定
令和2年3月	改定 ⁵
令和7年3月	改定（本計画）

1.2. 目的

長寿命化修繕計画の目的は、以下の通りとします。

- ・ 定期点検の結果や施設の重要性を踏まえた修繕の優先順位を設定することで、効率的に修繕を実施します。
- ・ 修繕計画を踏まえたメンテナンスサイクルを構築することで、橋りょうの長寿命化、大規模修繕の回避、中長期的なトータルコストの縮減及び予算の平準化を図ります。



図1-1 長寿命化修繕計画の目的⁶

⁴ 道路法施行規則第四条の五の六

⁵ 令和5年度に新技術等の活用方針を追記しています。

⁶ 道路のメンテナンスサイクルの構築に向けて（平成25年6月 社会資本整備審議会 道路分科会道路メンテナンス技術小委員会）における、「道路メンテナンス技術小委員会の中間とりまとめについて」及び「第4回道路メンテナンス技術小委員会 配布資料」より

2. 長寿命化修繕計画の対象施設

(1) 対象橋りょうの名称及び諸元

対象橋りょうの名称及び諸元は別紙1の通りです。

(2) 対象橋りょうの道路条件

対象橋りょうの道路条件は表2-1の通りです。

表2-1 道路条件

緊急輸送道路 ⁷	緊急輸送道路 補完道路 ⁸	その他道路 ⁹	合計
0	11	209	220

(3) 対象橋りょうの桁下条件

対象橋りょうの桁下条件は表2-2の通りです。

表2-2 桁下条件

緊急輸送 道路 ⁷	緊急輸送 道路補完 道路 ⁸	その他道 路 ⁹	鉄道	河川・水 路	その他	合計
8	0	2	1	209	0	220

⁷ 緊急輸送道路とは、地震等の大規模災害発生直後から救助活動人員や物資等の緊急輸送を円滑かつ確実に行うための道路です。

⁸ 緊急輸送道路補完道路とは、緊急輸送道路を補完する道路です。

⁹ その他道路とは、緊急輸送道路、緊急輸送道路補完道路以外の道路です。

3. 健全性の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

3.1. 健全性の把握

本市では、令和4年度・令和5年度に220橋の定期点検を実施しました。点検結果は、表3-1に示す、健全性の診断の区分（以下「健全性」という。）に分類しています。計画対象橋りょうの健全性は別紙1の通りです。

表3-1 健全性の診断の区分¹⁰

健全性		状 態
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態。
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

3.2. 日常的な維持管理に関する基本的な方針

橋りょうを良好な状態に保つため、日常的な維持管理として、パトロールや清掃などを行います。

¹⁰ トンネル等の健全性の診断結果の分類に関する告示（平成二十六年国土交通省告示第四百二十六号）

4. 計画全体の方針

4.1. 老朽化対策における基本方針

(1) 適用方針

本計画は「橋梁長寿命化修繕計画基本方針¹¹」に基づき策定することを基本とします。

(2) 管理水準

健全性Ⅰを管理水準とします。よって、修繕した橋りょうは、健全性Ⅰに回復させます。

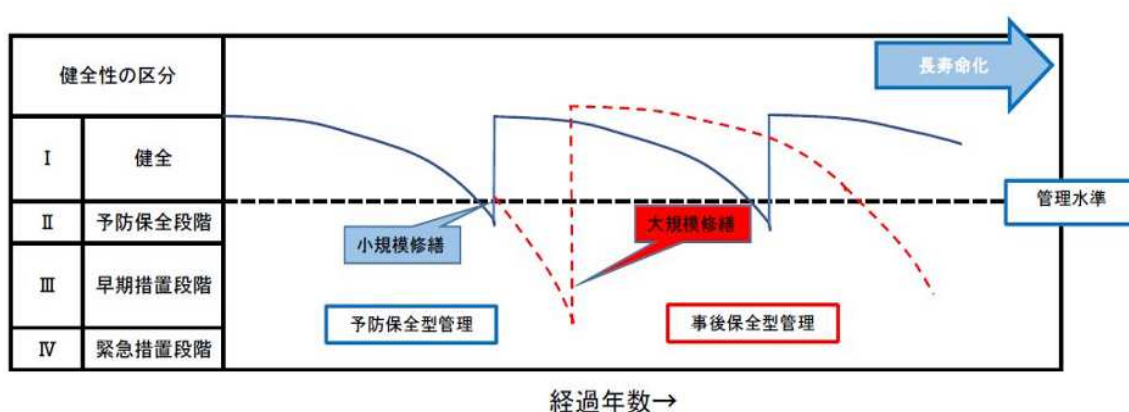


図4-1 管理水準¹²

¹¹ 橋梁長寿命化修繕計画基本方針とは、神奈川県内の市町村が管理する橋りょうにおいて、道路管理者が統一的な管理及び効率的な維持管理を実施することを目的として策定された基本方針のことです。令和5年4月に（公財）神奈川県都市整備技術センターが策定しています。

¹² 橋梁長寿命化修繕計画基本方針 p.4

(3) 管理方針

橋りょうの管理方針は、「予防保全型」を基本とします。予防保全型は、健全性がⅡとなった段階で、予算の範囲内で必要な対策を計画的に実施します。ただし、第三者被害のおそれの無い溝橋や単径間の床版橋等で、構造特性や周辺状況により、大規模修繕を行う際の社会的影響が小さいと判断した橋りょうについては「事後保全型」で管理します。事後保全型は、健全性がⅢとなった段階で対策します。表４－１に予防保全型の管理方針、表４－２に事後保全型の管理方針を示します。計画対象橋りょうの管理方針は別紙１の通りです。

表４－１ 予防保全型の管理方針¹³

健全性		管理方針	修繕優先度
I	健全	健全な状態であるため、修繕の対象外とします。	(低い)  (高い)
II	予防保全段階	<u>予防保全の観点から、予算の範囲内で必要な対策を計画的に実施します。</u>	
III	早期措置段階	５年以内に優先して修繕を実施することを基本とします。	
IV	緊急措置段階	緊急措置が必要な状態であるため、本計画の対象外とします。	

表４－２ 事後保全型の管理方針¹³

健全性		管理方針	修繕優先度
I	健全	健全な状態であるため、修繕の対象外とします。	(低い)  (高い)
II	予防保全段階	<u>修繕の対象外とします。</u>	
III	早期措置段階	５年以内に優先して修繕を実施することを基本とします。	
IV	緊急措置段階	緊急措置が必要な状態であるため、本計画の対象外とします。	

¹³ 橋梁長寿命化修繕計画基本方針 p.4,p.9 (一部修正)

(4) 修繕の優先順位

効率的に修繕を実施するため、修繕の優先順位を設定します。修繕の優先順位は、橋りょうの健全性と重要度指標¹⁴により、図4-2の通りとします。

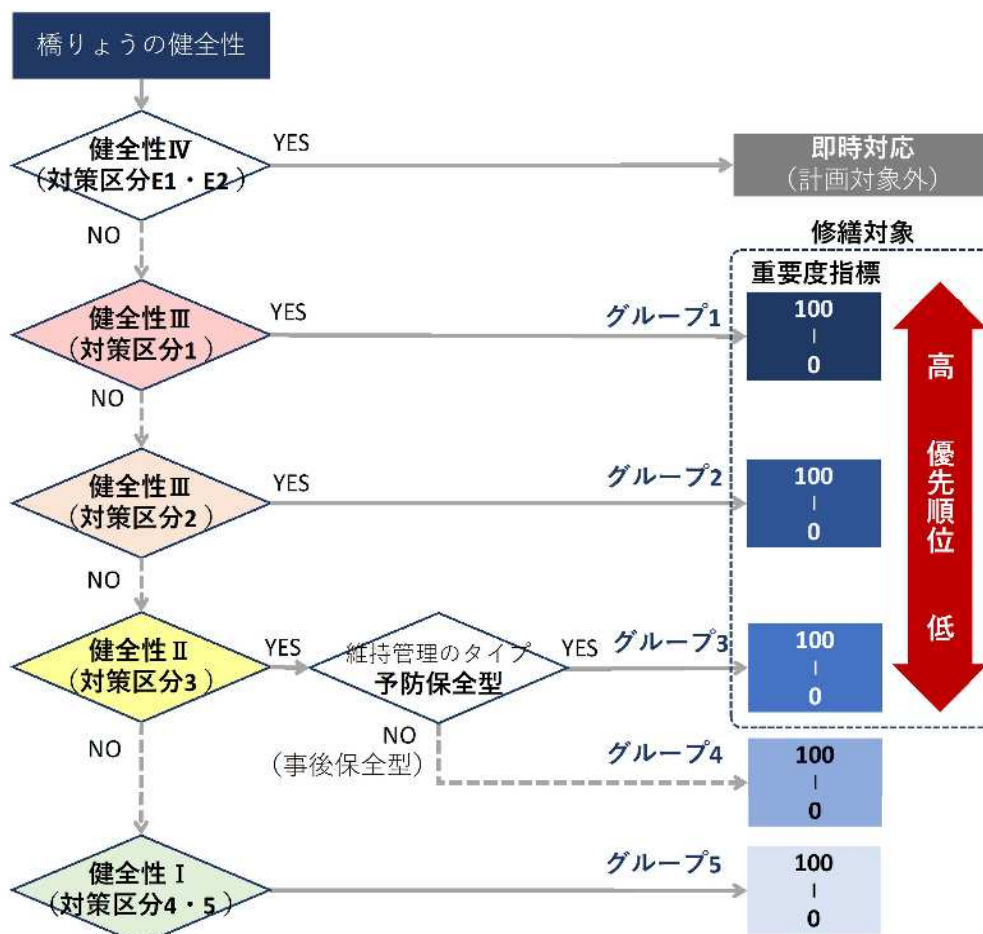


図4-2 修繕の優先順位¹⁵

¹⁴ 重要度指標は、利用者・第三者・管理者の視点で評価項目と配点を設定し、その合計点数により施設の重要度を評価したものです。

¹⁵ 橋梁長寿命化修繕計画基本方針 p.23 (一部修正)。ここで、フローに示す対策区分とは、神奈川県市町村版定期点検要領【橋梁編】に基づき判定された数値です。

4.2. 新技術等の活用方針

新技術等の活用方針は、以下の通りとします。

- ・ 定期点検を実施する際は、点検支援技術性能カタログ¹⁶を参考にして、点検支援技術の活用を積極的に検討します。
- ・ 修繕を実施する際は、新技術情報提供システム (NETIS)¹⁷等を参考にして、新技術・新工法の活用を積極的に検討します。

4.3. 費用の縮減に関する具体的な方針

費用の縮減に関する具体的な方針は、以下の通りとします。

- ・ 橋りょうごとに最適な管理方針を決定することで、ライフサイクルコストの縮減を図ります。
- ・ 定期点検や修繕において、新技術等を積極的に活用することにより、事業の効率化やコスト縮減を図ります。
- ・ 利用状況などから、集約・撤去が可能な橋りょうについては、地域住民との合意形成や関係機関との調整を進めていきます。集約・撤去の実現により、維持管理の効率化やコスト縮減を図ります。

¹⁶ 点検支援技術性能カタログとは、道路構造物の点検の効率化・高度化を推進するため、国土交通省が定めた標準項目に対する性能値を開発者に求め、開発者から提出されたものをカタログ形式でとりまとめたものです。

¹⁷ 新技術情報提供システム (NETIS) とは、新技術の活用のため、国土交通省が新技術に関わる情報の共有及び提供を目的として整備したデータベースシステムのことです。

5. 計画全体の目標

5.1. 集約・撤去や新技術等の活用に関する短期的な数値目標及びそのコスト縮減効果

(1) 集約・撤去に関する短期的な数値目標及びそのコスト縮減効果

利用状況がほとんど無く、迂回路が存在する1橋について、令和11年度(2029年度)までに集約・撤去を目指します。集約・撤去により、5年間に要する維持管理費を95万円コスト縮減することを目指します。

(2) 新技術等の活用に関する短期的な数値目標及びそのコスト縮減効果

1) 定期点検

点検作業環境が狭小である溝橋の内、1橋で点検支援技術の活用を目指します。点検支援技術の活用により、令和11年度(2029年度)までに1万円のコスト縮減を目指します。

2) 修繕

本計画の対象期間内で修繕を行う橋りょうの内、2橋で新技術の活用を目指します。新技術の活用により、令和11年度(2029年度)までに113万円のコスト縮減を目指します。

6. 計画対象期間における事業計画

(1) 橋りょう長寿命化修繕計画の対象期間

本計画の対象期間は、令和7年度(2025年度)から令和11年度(2029年度)の5年間とします。よって、次回の本計画の改定は令和11年度(2029年度)に実施します。

(2) 定期点検

次回の定期点検は、令和9年度(2027年度)および令和10年度(2028年度)に実施します。対象橋りょうごとの次回の定期点検年度は、別紙1の通りとします。

(3) 修繕計画

令和7年度(2025年度)から令和11年度(2029年度)の修繕計画は、別紙1の通りとします。

7. 長寿命化修繕計画による効果

計画対象橋りょうについて、損傷が軽微なうちに修繕を行う「予防保全型¹⁸」と、損傷が深刻化してから大規模修繕を行う「事後保全型」で、50年間に要する費用をシミュレーションしました。

シミュレーション結果より、予防保全型による修繕費用は31.1億円、事後保全型による修繕費用は41.4億円となりました。予防保全型の維持管理をすることにより、約25%のコスト削減効果（差額約10.3億円）が見込まれます¹⁹。

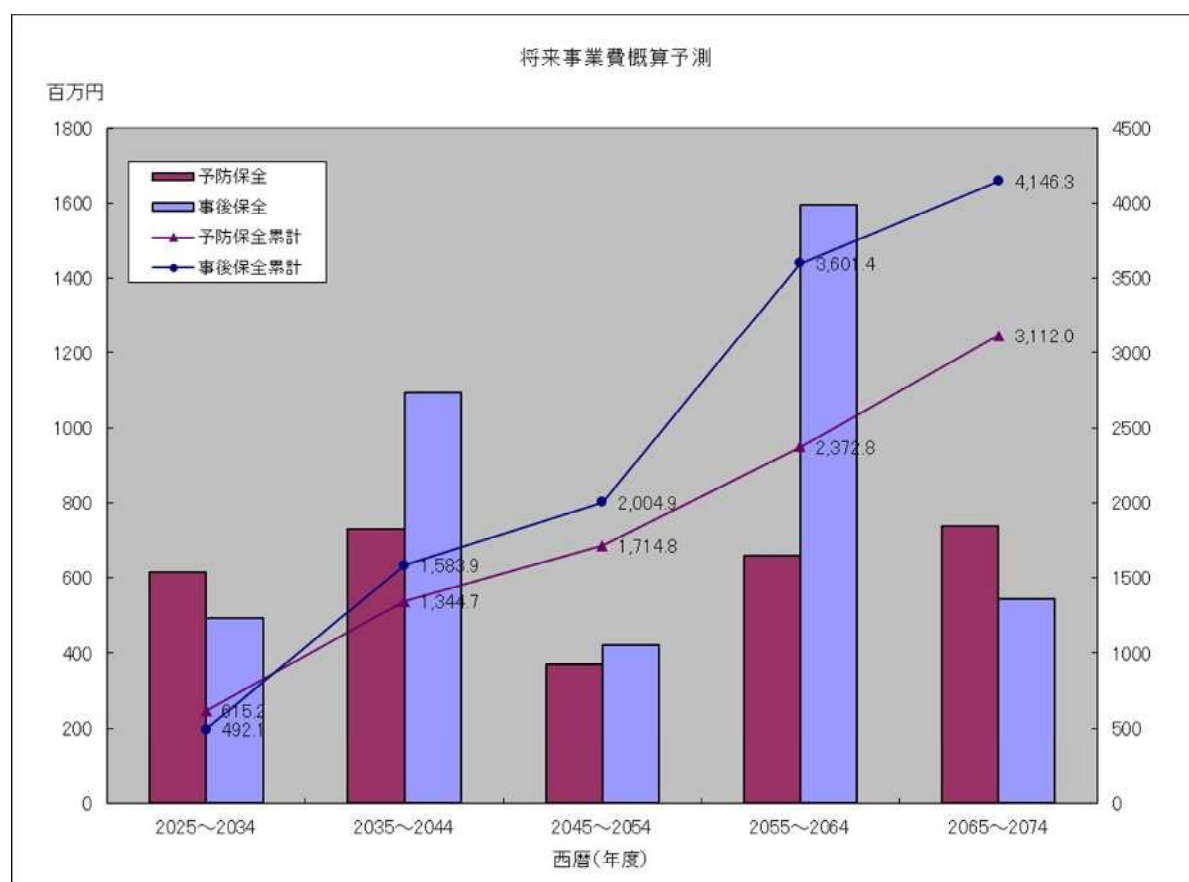


図 7 - 1 50 年間の修繕費用の試算

¹⁸ このシミュレーションで定義する「予防保全型」とは、別紙 1 に記載した管理方針とします。

¹⁹ 今後、定期点検データを蓄積していくことで、さらなる精度向上が図れるため、現在の値に固定化されるものではありません。

8. 意見聴取した学識経験者、計画策定部署

8.1. 意見聴取した学識経験者

関東学院大学	理工学部	出雲 淳一	教授
横浜国立大学	大学院 都市イノベーション研究院	勝地 弘	教授

8.2. 計画策定部署

伊勢原市道路整備課

TEL : 0 4 6 3 - 9 4 - 4 7 1 1 (代表)

個別の構造物ごとの事項

NO.	構造物の諸元				直近の点検結果		管理方針	次回点検年度	対策内容
	橋りょう名	橋長(m)	橋梁形式	竣工年	点検年度	健全性 (対策区分)			
1	池端陸橋	148.00	PC橋	1977	2022	Ⅲ(2)	予防保全型	2027	断面修復、剥落防止、防護柵ボルト再取付
2	沼目陸橋	140.00	PC橋	1977	2022	Ⅱ(3)	予防保全型	2027	床版防水、ひび割れ注入、断面修復
3	見附島歩道橋	105.52	鋼橋	1977	2022	Ⅲ(2)	予防保全型	2027	当て板補強
4	四角山橋	47.00	鋼橋	1992	2022	Ⅱ(M)	予防保全型	2027	
5	歌川橋 1	40.40	鋼橋	1993	2023	I(4)	予防保全型	2028	
6	一本松橋	40.75	PC橋	1968	2022	I(4)	予防保全型	2027	
7	三間橋	40.40	鋼橋	1992	2022	Ⅱ(3)	予防保全型	2027	R5年度修繕
8	坂東橋	40.34	鋼橋	1992	2022	Ⅱ(3)	予防保全型	2027	塗装塗替
9	黄金橋	32.73	鋼橋	1970	2022	Ⅱ(3)	予防保全型	2027	塗装塗替、床版防水、ひび割れ注入、断面修復
10	枝橋	31.00	鋼橋	1970	2022	Ⅱ(3)	予防保全型	2027	床版防水、ひび割れ注入、断面修復
11	大堰橋	28.20	鋼橋	1970	2022	I(4)	予防保全型	2027	
12	大田橋 1	27.70	鋼橋	1970	2022	Ⅱ(3)	予防保全型	2027	塗装塗替、床版防水、ひび割れ注入、断面修復
13	池端駒形橋	21.90	PC橋	1986	2022	I(4)	予防保全型	2027	
14	行人橋	19.30	RC橋	1954	2022	Ⅱ(3)	予防保全型	2027	ひび割れ注入、断面修復
15	十二神橋	19.20	RC橋	1948	2023	I(5)	予防保全型	2028	
16	伯母様橋	18.44	PC橋	1979	2022	I(4)	予防保全型	2027	R5年度修繕
17	鈴川橋	17.70	RC橋	1926	2022	I(4)	予防保全型	2027	
18	阿夫利橋	18.00	PC橋	1991	2022	I(4)	予防保全型	2027	
19	望星橋	15.90	PC橋	1960	2022	Ⅱ(3)	予防保全型	2027	ひび割れ注入、断面修復
20	道灌橋歩道橋	15.00	鋼橋	1978	2022	Ⅱ(3)	予防保全型	2027	塗装塗替、断面修復
21	源氏橋	27.50	鋼橋	1970	2022	Ⅱ(3)	予防保全型	2027	塗装塗替
22	黒橋	27.50	鋼橋	1969	2022	Ⅱ(3)	予防保全型	2027	塗装塗替
23	下谷戸橋	26.00	PC橋	1996	2022	I(4)	予防保全型	2027	
24	又口橋	21.20	鋼橋	1969	2022	Ⅱ(3)	予防保全型	2027	塗装塗替
25	谷原橋	21.20	鋼橋	1969	2022	I(4)	予防保全型	2027	

個別の構造物ごとの事項

NO.	構造物の諸元				直近の点検結果		管理方針	次回点検年度	対策内容
	橋りょう名	橋長(m)	橋梁形式	竣工年	点検年度	健全性 (対策区分)			
26	榎戸橋	20.70	PC橋	1992	2022	I (M)	予防保全型	2027	
27	加寿美橋	20.30	PC橋	1990	2022	I (4)	予防保全型	2027	
28	昭和用水橋	19.80	PC橋	2000	2022	I (4)	予防保全型	2027	
29	熊野二号橋	19.80	PC橋	1992	2022	I (5)	予防保全型	2027	
30	若宮橋	19.40	PC橋	1997	2022	I (4)	予防保全型	2027	
31	向原橋	19.10	PC橋	1971	2022	I (4)	予防保全型	2027	
32	菖蒲田橋	18.80	PC橋	1982	2022	I (4)	予防保全型	2027	
33	歌川橋 2	23.80	PC橋	2005	2022	I (4)	予防保全型	2027	
34	大場田橋	17.60	PC橋	1981	2022	I (4)	予防保全型	2027	
35	愛宕橋	16.06	RC橋	1991	2022	I (4)	予防保全型	2027	
36	新櫻橋	19.80	PC橋	2002	2022	I (4)	予防保全型	2027	
37	崖下橋	15.10	RC橋	1958	2022	I (4)	予防保全型	2027	
38	夢見の橋	21.00	PC橋	2007	2022	I (4)	予防保全型	2027	
39	八丈橋	20.33	PC橋	2003	2022	I (4)	予防保全型	2027	
40	棚田橋	19.80	鋼橋	2009	2022	I (4)	予防保全型	2027	
41	無名橋 1	15.03	鋼橋	1971	2022	II (3)	予防保全型	2027	床版防水、ひび割れ注入、断面修復
42	西川橋	11.80	PC橋	1987	2022	I (4)	予防保全型	2027	
43	大田橋 2	10.45	RC橋	1968	2022	I (4)	予防保全型	2027	
44	大田人道橋	12.02	鋼橋	1975	2022	I (4)	予防保全型	2027	
45	上谷橋	11.20	PC橋	1984	2022	I (4)	予防保全型	2027	
46	無名橋 2	10.50	鋼橋	不明	2022	II (3)	事後保全型	2027	
47	中ノ橋	10.10	RC橋	1934	2022	I (4)	予防保全型	2027	
48	中谷橋	11.10	RC橋	1934	2022	II (3)	予防保全型	2027	ひび割れ注入、断面修復
49	中西橋	10.10	RC橋	1958	2022	I (4)	事後保全型	2027	
50	筒川橋	11.87	PC橋	1971	2022	I (4)	事後保全型	2027	

個別の構造物ごとの事項

NO.	構造物の諸元				直近の点検結果		管理方針	次回点検年度	対策内容
	橋りょう名	橋長(m)	橋梁形式	竣工年	点検年度	健全性 (対策区分)			
51	市米橋	11.65	RC橋	1971	2022	I(4)	予防保全型	2027	
52	板戸川橋	13.25	PC橋	1971	2022	I(4)	予防保全型	2027	
53	真玉橋	10.52	PC橋	1959	2022	I(4)	事後保全型	2027	
54	串橋	11.30	PC橋	2008	2022	I(4)	事後保全型	2027	
55	後原橋	11.00	PC橋	2003	2022	I(4)	事後保全型	2027	
56	木津根橋	10.80	鋼橋	1971	2022	I(4)	予防保全型	2027	
57	大礼橋	10.50	鋼橋	1971	2022	I(4)	予防保全型	2027	
58	無名橋 3	13.35	鋼橋	不明	2023	I(4)	予防保全型	2028	
59	無名橋 4	11.50	PC橋	1986	2022	Ⅲ(S)	事後保全型	2027	詳細調査 表面被覆、ひび割れ注入、断面修復
60	千歳橋	13.50	PC橋	不明	2022	I(4)	事後保全型	2027	
61	落合橋	10.20	RC橋	不明	2022	Ⅱ(3)	予防保全型	2027	床版防水、ひび割れ注入、断面修復
62	旭橋	12.02	PC橋	1965	2022	I(4)	予防保全型	2027	
63	千代見橋	12.46	RC橋	1933	2022	I(5)	予防保全型	2027	
64	笛竹橋	10.00	RC橋	1998	2022	I(4)	事後保全型	2027	
65	光月橋	13.10	RC橋	1987	2022	I(4)	事後保全型	2027	
66	諏訪裏橋	13.54	PC橋	不明	2022	I(4)	事後保全型	2027	
67	龍泉寺橋	14.37	鋼橋	不明	2023	Ⅲ(2)	事後保全型	2028	R6年度修繕
68	三ノ宮橋	11.03	RC橋	1928	2023	Ⅲ(1)	予防保全型	2028	R6年度修繕
69	中谷戸橋	14.24	PC橋	1986	2022	I(4)	事後保全型	2027	
70	栗原大橋	13.18	鋼橋	1977	2022	I(4)	予防保全型	2027	
71	新権現堂橋	14.46	PC橋	1999	2022	I(4)	事後保全型	2027	
72	無名橋 5	14.04	鋼橋	不明	2022	Ⅱ(3)	事後保全型	2027	
73	新玉橋	12.31	RC橋	1934	2022	I(4)	予防保全型	2027	
74	中央橋	14.54	PC橋	1957	2022	I(4)	事後保全型	2027	
75	道灌橋	14.60	PC橋	不明	2022	I(4)	予防保全型	2027	

個別の構造物ごとの事項

NO.	構造物の諸元				直近の点検結果		管理方針	次回点検年度	対策内容
	橋りょう名	橋長(m)	橋梁形式	竣工年	点検年度	健全性 (対策区分)			
76	大長橋	3.60	RC橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
77	沢尻橋	7.97	PC橋	1971	2022	I (4)	予防保全型	2027	
78	八反地橋	5.00	PC橋	不明	2022	I (4)	事後保全型	2027	
79	中広橋	5.65	PC橋	不明	2022	I (4)	事後保全型	2027	
80	谷原下橋	5.10	PC橋	1979	2022	I (4)	予防保全型	2027	
81	赤羽根橋	7.32	PC橋	1978	2022	I (4)	予防保全型	2027	
82	無明橋	9.20	RC橋	1964	2022	I (4)	事後保全型	2027	
83	紅葉橋	7.03	RC橋	1964	2022	I (4)	事後保全型	2027	
84	雲井橋	9.07	PC橋	1957	2022	I (4)	事後保全型	2027	
85	善波橋	6.10	PC橋	1979	2022	I (4)	事後保全型	2027	
86	宮ノ根橋	8.40	PC橋	1981	2022	I (4)	事後保全型	2027	
87	東橋	9.10	PC橋	1982	2022	I (4)	予防保全型	2027	
88	無名橋 6	6.10	RC橋	不明	2023	II (M)	予防保全型	2028	
89	桐ノ木橋	5.82	RC橋	1971	2022	I (4)	事後保全型	2027	
90	万崎橋	7.70	PC橋	1987	2022	I (4)	予防保全型	2027	
91	無名橋 7	6.37	RC橋	不明	2022	I (4)	事後保全型	2027	
92	弁天橋	6.85	RC橋	不明	2022	I (4)	事後保全型	2027	
93	出口橋	7.95	PC橋	1987	2022	I (4)	事後保全型	2027	
94	熊野橋	7.57	鋼橋	不明	2023	I (M)	事後保全型	2028	
95	陸間橋	5.04	RC橋	1960	2023	I (4)	事後保全型	2028	
96	八幡橋 1	5.50	PC橋	1974	2022	I (4)	予防保全型	2027	
97	仲田橋	5.10	PC橋	1974	2022	I (4)	予防保全型	2027	
98	西部用水 4 号橋	5.90	RC橋	不明	2023	II (M)	事後保全型	2028	
99	秋山橋	8.61	鋼橋	1971	2022	I (4)	予防保全型	2027	
100	無名橋 8	5.10	RC橋	不明	2023	I (4)	予防保全型	2028	

個別の構造物ごとの事項

NO.	構造物の諸元				直近の点検結果		管理方針	次回点検年度	対策内容
	橋りょう名	橋長(m)	橋梁形式	竣工年	点検年度	健全性 (対策区分)			
101	九沢橋	7.35	PC橋	1978	2022	I(4)	予防保全型	2027	
102	八幡橋 2	9.45	PC橋	1982	2022	I(4)	事後保全型	2027	
103	無名橋 9	9.48	RC橋	不明	2022	I(4)	事後保全型	2027	
104	竹ノ内橋	9.17	RC橋	1934	2022	II(M)	予防保全型	2027	
105	上西川橋	10.25	木橋	不明	2023	III(1)	予防保全型	2028	R6年度本体架替え
106	堤橋	11.50	鋼橋	不明	2023	I(4)	予防保全型	2028	
107	丸山橋	10.04	鋼橋	不明	2023	II(M)	予防保全型	2028	
108	西ノ前橋 1	3.97	溝橋	不明	2023	I(4)	予防保全型	2028	
109	無名橋 1 0	7.15	溝橋	1971	2023	I(4)	予防保全型	2028	
110	無名橋 1 1	7.50	溝橋	1987	2023	I(4)	予防保全型	2028	
111	無名橋 1 2	5.90	溝橋	不明	2023	I(4)	事後保全型	2028	
112	無名橋 1 3	4.20	溝橋	不明	2023	I(4)	事後保全型	2028	
113	西部用水 1 号橋	4.00	溝橋	1988	2023	I(M)	事後保全型	2028	
114	無名橋 1 4	2.60	RC橋	不明	2023	I(4)	事後保全型	2028	
115	無名橋 1 5	2.60	RC橋	不明	2023	I(4)	事後保全型	2028	
116	無名橋 1 6	2.50	RC橋	不明	2022	I(4)	事後保全型	2027	
117	無名橋 1 7	3.00	RC橋	不明	2023	I(4)	事後保全型	2028	
118	無名橋 1 8	2.60	RC橋	不明	2023	I(4)	予防保全型	2028	
119	広町 1 号橋	3.60	RC橋	不明	2023	I(4)	事後保全型	2028	
120	無名橋 1 9	3.20	RC橋	不明	2023	I(4)	予防保全型	2028	
121	角田橋	2.90	RC橋	不明	2023	I(4)	事後保全型	2028	
122	無名橋 2 0	2.00	溝橋	不明	2023	I(4)	事後保全型	2028	
123	無名橋 2 1	2.00	RC橋	不明	2023	I(4)	事後保全型	2028	
124	無名橋 2 2	3.50	RC橋	不明	2023	I(4)	事後保全型	2028	
125	無名橋 2 3	3.50	溝橋	不明	2023	I(4)	事後保全型	2028	

個別の構造物ごとの事項

NO.	構造物の諸元				直近の点検結果		管理方針	次回点検年度	対策内容
	橋りょう名	橋長(m)	橋梁形式	竣工年	点検年度	健全性 (対策区分)			
126	無名橋 2 4	3.50	溝橋	不明	2022	I (4)	事後保全型	2027	
127	蔵ノ下小橋	3.00	PC橋	不明	2022	I (4)	事後保全型	2027	
128	前田橋	4.30	溝橋	不明	2023	I (4)	予防保全型	2028	
129	扇橋	2.50	溝橋	1986	2023	I (4)	予防保全型	2028	
130	無名橋 2 5	2.90	溝橋	不明	2022	I (4)	事後保全型	2027	
131	立町橋	2.70	RC橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
132	無名橋 2 6	2.85	溝橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
133	無名橋 2 7	3.20	溝橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
134	谷堺橋	2.10	溝橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
135	下野原橋	3.00	溝橋	1977	2023	I (4)	事後保全型	2028	
136	無名橋 2 8	2.40	溝橋	1977	2023	I (4)	事後保全型	2028	
137	塚越橋	4.40	溝橋	不明	2023	I (4)	予防保全型	2028	
138	無名橋 2 9	2.60	溝橋	1984	2023	I (4)	事後保全型	2028	
139	無名橋 3 0	4.50	RC橋	1994	2023	I (4)	予防保全型	2028	
140	無名橋 3 1	4.00	溝橋	不明	2022	I (4)	事後保全型	2027	
141	無名橋 3 2	2.50	溝橋	1979	2023	I (4)	事後保全型	2028	
142	無名橋 3 4	3.60	溝橋	1984	2023	I (5)	事後保全型	2028	
143	無名橋 3 5	2.10	溝橋	1984	2023	I (4)	予防保全型	2028	
144	無名橋 3 6	2.50	PC橋	1984	2022	I (4)	事後保全型	2027	
145	無名橋 3 7	2.20	溝橋	1984	2023	I (4)	事後保全型	2028	
146	無名橋 3 8	3.20	RC橋	1991	2023	I (4)	事後保全型	2028	
147	無名橋 3 9	2.40	溝橋	1984	2023	I (4)	事後保全型	2028	
148	無名橋 4 0	2.20	溝橋	1993	2023	Ⅲ(1)	予防保全型	2028	ボックスカルバート布設替え、 表面被覆、ひび割れ注入、断面 修復
149	無名橋 4 1	2.00	溝橋	不明	2022	I (4)	事後保全型	2027	
150	無名橋 4 2	3.50	RC橋	不明	2022	I (4)	事後保全型	2027	

個別の構造物ごとの事項

NO.	構造物の諸元				直近の点検結果		管理方針	次回点検年度	対策内容
	橋りょう名	橋長(m)	橋梁形式	竣工年	点検年度	健全性 (対策区分)			
151	中橋	2.20	溝橋	不明	2022	Ⅱ(3)	事後保全型	2027	
152	十五反町橋	2.10	溝橋	不明	2023	I(4)	事後保全型	2028	
153	木ノ下橋	2.10	溝橋	不明	2023	I(4)	予防保全型	2028	
154	無名橋 4 4	2.10	溝橋	不明	2023	I(4)	事後保全型	2028	
155	無名橋 4 5	2.50	RC橋	不明	2023	I(4)	事後保全型	2028	
156	無名橋 4 6	2.30	溝橋	不明	2023	I(4)	事後保全型	2028	
157	無名橋 4 7	2.30	溝橋	不明	2023	I(4)	事後保全型	2028	
158	無名橋 4 8	2.40	溝橋	不明	2023	I(4)	事後保全型	2028	
159	無名橋 4 9	2.41	溝橋	不明	2023	I(4)	事後保全型	2028	
160	無名橋 5 0	2.10	溝橋	不明	2023	I(4)	事後保全型	2028	
161	無名橋 5 1	4.20	溝橋	不明	2023	Ⅱ(M)	事後保全型	2028	
162	無名橋 5 2	2.20	溝橋	不明	2023	I(4)	事後保全型	2028	
163	吉際橋	4.08	溝橋	1986	2023	Ⅱ(3)	事後保全型	2028	
164	引地橋	3.70	RC橋	1986	2023	I(4)	事後保全型	2028	
165	城ノ腰橋	3.70	RC橋	1986	2023	Ⅱ(3)	事後保全型	2028	
166	長町橋	3.70	RC橋	1986	2023	I(4)	事後保全型	2028	
167	見附島橋	4.33	RC橋	1986	2023	I(4)	予防保全型	2028	
168	島ノ内橋	4.35	RC橋	1985	2023	I(4)	事後保全型	2028	
169	無名橋 5 3	2.60	溝橋	1986	2023	I(4)	事後保全型	2028	
170	無名橋 5 4	2.80	溝橋	1984	2023	I(4)	事後保全型	2028	
171	無名橋 5 5	2.80	溝橋	1984	2023	I(4)	事後保全型	2028	
172	無名橋 5 6	2.90	溝橋	1984	2023	I(4)	事後保全型	2028	
173	無名橋 5 7	3.00	溝橋	1984	2023	I(4)	事後保全型	2028	
174	大句橋	4.60	RC橋	1924	2023	I(4)	予防保全型	2028	
175	無名橋 5 8	3.10	RC橋	不明	2023	Ⅱ(3)	事後保全型	2028	

個別の構造物ごとの事項

No.	構造物の諸元				直近の点検結果		管理方針	次回点検年度	対策内容
	橋りょう名	橋長(m)	橋梁形式	竣工年	点検年度	健全性 (対策区分)			
176	無名橋 5 9	2. 86	溝橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
177	無名橋 6 0	3. 45	RC橋	不明	2023	I (4)	予防保全型	2028	
178	無名橋 6 1	1. 64	溝橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
179	小亀橋	4. 30	RC橋	1988	2023	I (4)	事後保全型	2028	
180	猪野尻橋	4. 70	溝橋	1986	2023	I (4)	事後保全型	2028	
181	中家橋	4. 70	溝橋	1987	2023	I (4)	事後保全型	2028	
182	西ノ前橋 2	4. 70	溝橋	1986	2023	I (4)	事後保全型	2028	
183	下坂東橋	4. 70	溝橋	1986	2023	I (4)	事後保全型	2028	
184	無名橋 6 2	3. 20	溝橋	不明	2023	I (4)	予防保全型	2028	
185	大下橋	2. 90	溝橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
186	西部用水 6 号橋	2. 64	溝橋	不明	2023	II (3)	予防保全型	2028	ひび割れ注入、断面修復
187	西部用水 5 号橋	2. 52	溝橋	不明	2023	I (4)	予防保全型	2028	
188	無名橋 6 3	2. 66	溝橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
189	矢羽根川橋	4. 10	RC橋	不明	2023	II (3)	事後保全型	2028	
190	無名橋 6 4	4. 20	RC橋	不明	2022	II (3)	予防保全型	2027	ひび割れ注入、断面修復
191	無名橋 6 5	3. 00	溝橋	1991	2023	II (3)	予防保全型	2028	ひび割れ注入、断面修復
192	無名橋 6 6	3. 65	RC橋	不明	2023	II (3)	事後保全型	2028	
193	無名橋 6 7	4. 35	RC橋	不明	2023	II (3)	事後保全型	2028	
194	無名橋 6 8	3. 90	RC橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
195	無名橋 6 9	3. 38	溝橋	不明	2023	II (3)	事後保全型	2028	
196	西部用水 3 号橋	2. 50	溝橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
197	無名橋 7 0	2. 02	溝橋	不明	2023	I (4)	事後保全型	2028	
198	中橋 (仮設)	8. 20	鋼橋	不明	2023	II (3)	予防保全型	2028	塗装塗替
199	無名橋 7 1	3. 60	RC橋	不明	2022	II (3)	予防保全型	2027	ひび割れ注入、断面修復
200	山王橋	2. 43	RC橋	不明	2022	I (4)	事後保全型	2027	

個別の構造物ごとの事項

NO.	構造物の諸元				直近の点検結果		管理方針	次回点検年度	対策内容
	橋りょう名	橋長(m)	橋梁形式	竣工年	点検年度	健全性 (対策区分)			
201	無名橋 7 2	3.00	RC橋	不明	2023	Ⅱ(3)	事後保全型	2028	
202	無名橋 7 4	3.60	RC橋	不明	2022	Ⅱ(3)	予防保全型	2027	ひび割れ注入、断面修復
203	無名橋 7 5	2.85	溝橋	不明	2023	Ⅱ(3)	事後保全型	2028	
204	無名橋 7 6	2.50	RC橋	1957	2022	I(4)	事後保全型	2027	
205	無名橋 7 7	3.79	溝橋	1985	2023	I(4)	予防保全型	2028	
206	無名橋 7 8	3.35	RC橋	不明	2022	I(4)	事後保全型	2027	
207	無名橋 7 9	3.10	RC橋	1951	2022	I(4)	事後保全型	2027	
208	無名橋 8 0	3.84	RC橋	不明	2022	I(4)	事後保全型	2027	
209	無名橋 8 1	7.60	溝橋	2011	2022	I(4)	事後保全型	2027	
210	無名橋 8 2	3.80	RC橋	不明	2022	I(4)	事後保全型	2027	
211	無名橋 8 3	3.63	RC橋	不明	2023	Ⅱ(3)	事後保全型	2028	
212	無名橋 8 5	3.02	RC橋	不明	2022	Ⅱ(3)	事後保全型	2027	
213	無名橋 8 6	2.47	溝橋	不明	2023	I(4)	事後保全型	2028	
214	無名橋 8 7	3.05	溝橋	不明	2023	Ⅱ(3)	事後保全型	2028	
215	二ツ橋	4.81	RC橋	1928	2023	I(4)	予防保全型	2028	
216	無名橋 8 8	2.70	RC橋	1928	2023	I(4)	事後保全型	2028	
217	無名橋 8 9	4.10	溝橋	不明	2023	I(4)	事後保全型	2028	
218	無名橋 9 0	3.20	溝橋	不明	2023	I(4)	事後保全型	2028	
219	無名橋 9 1	2.30	RC橋	不明	2023	Ⅱ(3)	予防保全型	2028	ひび割れ注入、断面修復
220	無名橋 9 2	2.65	鋼橋	不明	2023	I(4)	事後保全型	2028	

※補修設計等により対策の内容が変更することもあります。

※定期点検や日常パトロール及び緊急点検などの結果により、対策時期を変更することもあります。